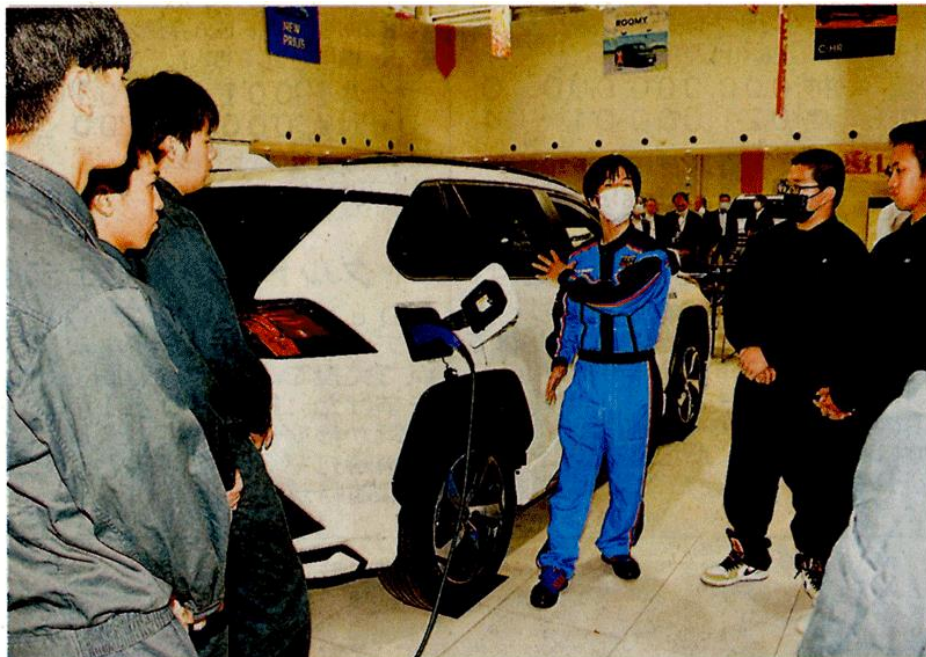


東奥日報

2023年(令和5年)7月7日(金曜日) (18)



PHV車の充電方法について自動車整備士(中央)から説明を受ける生徒たち

車業界へ興味、理解深めて

人材確保へ 高校生向け出前授業

自動車業界を目指す人材の確保につなげようと、東北運輸局と八戸工業大学などは6月29日、八戸市のトヨタカローラ八戸サザンウイングで高校生を対象にした出前授業を行った。八戸工業大学第一高校工業科機械コースの2年生23人が参加し、最新の自動車技術や車両整備の現場に理解を深めた。

同業界で課題となっている人材不足対策の一環で、同局と同大、県自動車整備振興会、トヨタカローラ八戸(塚原安雅社長)の4者が初めて共催した。同大工学部の浅川拓克准教授が、同業界における二酸化炭素(CO₂)削減の取り組みなどについて講義。続いて同社の自動車整備士がトヨタの車両診断システム

ハ 戸 東北運輸局、八工大など

「GTS」の使い方や、家庭用電源を使ったプラグインハイブリッド(PHV)車の充電方法、タイヤ交換のこつなどを生徒たちに説明した。

木村勇大郎さん(16)は「パソコンを接続して車の不具合を発見できるのはすごいと思った。自分は自動車整備士を目指しているから、これから資格取得などを頑張りたい」と刺激を受けた様子だった。

同局自動車技術安全部の佐藤博昭部長は「いろいろな職業の選択肢があるので、皆さんの興味を大事にしてほしい。その上で、できれば車関係の仕事に就いてくれたら」と生徒たちに語りかけた。

(千葉真由美)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」